

## 2024年度前期 「授業評価アンケート」 報告書

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	合田 誠	社会福祉 (1・2・3組)	<p>受講生から指摘された事項として、最も多かったのはパワーポイントのスクリーンをめくるのをもう少し待ってほしいとの要望だったので、授業開始時から意識しての声かけはしていたが、さらに声かけを促すようにした。また、授業内容のプリント作成を要望した学生も一部いたことに対しては、他方の意見としてノートに書く方が理解できるとの意見もあったことを紹介し、授業配布する資料を少し増やすようにした。</p> <p>ただ、もう少し動画を見る時間を確保してほしいとの要望については、伝える内容を精査したとしても、時間確保には至らなかった。</p>	<p>今年度のペーパーテスト実施方式をコロナ禍前に戻した。つまり、コロナ禍前は「持ち込み不可」を実行していたが、リモート授業等の不足を補う目的で、最終授業で配布する「まとめ」プリントのみを持ち込み可とした。今年度は4年ぶりに「持ち込み不可」に戻したため、昨年度までと比較し、学生の評価は相当落ち込んだ。これもある程度は想定していたが、次年度以降も保育士の基幹科目として基礎固めをしてもらうためにも、この形式を継続していきたい。</p> <p>到達目標に関しては、「ほとんど達成」～「少し達成」までを合算すると9割以上となり、達成できたといえる。</p>
		社会福祉 (4・5・6組)	<p>中間アンケートで、改善要望が多かったのは、パワーポイントのスクリーンをめくる早さに対する指摘であった。授業開始時より、学生には声かけはしていたものの、アンケート以降はさらに注意しながら声かけに努めた。ノートの書く量が多いとの指摘もあったが、改めてスクリーンに映し出している内容をすべて書かせていることではなく、ポイントのみを書いてもらったり、補足としてテキストや配付資料を活用していることを説明しておいた。</p>	<p>今年度のペーパーテスト実施方式をコロナ禍前に戻した。つまり、コロナ禍前は「持ち込み不可」を実行していたが、リモート授業等の不足を補う目的で、最終授業で配布する「まとめ」プリントのみを持ち込み可とした。今年度は4年ぶりに「持ち込み不可」に戻したため、昨年度までと比較し、学生の評価は相当落ち込んだ。これもある程度は想定していたが、次年度以降も保育士の基幹科目として基礎固めをしてもらうためにも、この形式を継続していきたい。</p> <p>到達目標に関しては、「ほとんど達成」～「少し達成」までを合算すると9割以上となり、達成できたといえる。</p>
保	鍛冶谷 静	子どもの理解と援助 (1・2・3組)	<p>プロジェクターが見にくいとの意見が複数あり、教室の照明を落として対応した。</p>	<p>アンケートの結果と実際の成績との大きなギャップはなかった。ただし「あまり達成できなかった」と回答した学生が数名いたので、どのような知識技能が身についたのか、毎回の授業でさらに丁寧に伝え学生の実感につなげられるよう改善している</p>
		子どもの理解と援助 (4・5・6組)	<p>いい評価を書いてくれたので、さらに満足をしてもらい、成長できるように授業設計への工夫を継続した。</p>	<p>中間で行った授業アンケートでは、要望が全くなく、授業が充実しているという嬉しい感想を多くいただいた。そのためか、最終アンケートの「改善されたか？」の問いに学生は答えにくかったのかもしれない。予習復習時間が2時間の学生もあり、真剣に取り組んだ姿勢を知ることができた。</p> <p>到達目標の問いに対して、ほとんど達成できた、かなり達成できた学生が29名中20名であることに安心感を得ることができた。</p>
保	香月 欣浩	幼児と図工Ⅰ (1・2・3組)	<p>1年生の授業改善(授業内容・方法)を今年度も継続して行っているため、その効果を知りたかったため。</p>	<p>制作時間、片付け時間、振り返りシートの時間確保についての希望であったので、段取りをさらに考え、改善を行った。</p>
		幼児と図工Ⅰ (4・5・6組)	<p>いい感想ばかりだったので、さらに成長してもらえるように、学生の興味や状況を鑑みながら授業を設計し、実行することができた。</p>	<p>中間で行った授業アンケートでは、要望が全くなく、授業が充実しているという嬉しい感想を多くいただいた。そのためか、最終アンケートの「改善されたか？」の問いに学生は答えにくかったのかもしれない。</p> <p>到達目標の問いに対して、ほとんど達成できた、かなり達成できた学生が23名中18名と高く安心感を得ることができた。苦手な学生はまだいるので、自信をつけ、保育者に向けて成長できるような授業を実施していきたい</p>

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	阪野 学	社会的養護Ⅱ (1・2・3組)	<p>毎回の授業においてアクティブラーニングとして学生にシャトルシート（以下、シート）の提出及び答え合わせをして間違いを訂正したシートの再提出を課している。毎回のシートには要望があれば書き込める様にしている。尚、要望については、積極的な受講態度として評価し必ず次の授業でリアクションをするようにしている。対応ができない場合は何故対応できないのか説明をしている。そのため中間アンケートには取り立てて要望は無かった。</p> <p>しかし、授業のシートには、シートを授業の開始前に配布して欲しい、パワーポイントのシートの問題の回答にあたる部分にアンダーラインをして欲しい、パワーポイントを見やすくして欲しい、テキストのアンダーラインを引く所が分かり難い事があるので配慮して欲しい、アクティブラーニングを導入して欲しい（シートの取り組み自体がアクティブラーニング）、授業の後半が急ぎ足になるのでペース配分を考えて欲しい等の要望があった。何れも次の授業で要望のあった旨を説明し改善を行った。</p>	<p>シャトルシートを導入した目的は、授業内容の習熟度向上と学生たちがシートを活用して質問や要望が挙げる事が出来積極的に授業に参加できる様にするためである。そして更に毎回のシートに授業内容について考察文を書かせ添削の上返却し訂正させることによる文章力の向上の狙いも兼ねている。そして、その結果予習も含めた学外学修時間の確保に繋げている。ただし、学生に過度な負担が掛からない様に要望や本アンケートの結果に留意しながら対応を検討している。平均点は、65点であった。問1「そう思う・ややそう思う」が全体の約約65% 更に学生からの要望の対応に努める。問2「そう思う・ややそう思う」が全体の約69% シャトルシートの取り組み自体がアクティブラーニングであることを繰り返し説明する。問3全体の45%の学生たちが30分～1時間の学外学修時間が確保でき約31%の学生たちが1～2時間以上そして、約24%の学生たちは30分未満しか確保が出来ていない。この学生たちの割合を少なくするために検討する。問4シラバスの到達度は、「ほとんど達成できた・かなり達成できた」が全体の約31%、学生の理解度を押し量りながら工夫をしていく。</p>
		社会的養護Ⅱ (4・5・6組)	<p>毎回の授業においてアクティブラーニングとして学生にシャトルシート（以下、シート）の提出及び答え合わせをして間違いを訂正したシートの再提出を課している。毎回のシートには要望があれば書き込める様にしている。尚、要望については、積極的な受講態度として評価し必ず次の授業でリアクションするようにしている。対応ができない場合は何故対応できないのか説明をしている。そのため中間アンケートには取り立てて要望は無かった。</p> <p>しかし、授業のシートには、シートを授業の開始前に配布して欲しい、パワーポイントのシートの問題の回答にあたる部分にアンダーラインをして欲しい、パワーポイントを見やすくして欲しい、テキストのアンダーラインを引く所が分かり難い事があるので配慮して欲しい、アクティブラーニングを導入して欲しい（シートの取り組み自体がアクティブラーニング）、授業の後半が急ぎ足になるのでペース配分を考えて欲しい等の要望があった。何れも次の授業で要望のあった旨を説明し改善を行った。</p>	<p>シャトルシートを導入した目的は、授業内容の習熟度向上と学生たちがシートを活用して質問や要望が挙げる事が出来積極的に授業に参加できる様にするためである。そして更に毎回のシートに授業内容について考察文を書かせ添削の上返却し訂正させることによる文章力の向上の狙いも兼ねている。そして、その結果予習も含めた学外学修時間の確保に繋げている。ただし、学生に過度な負担が掛からない様に要望や本アンケートの結果に留意しながら対応を検討している。平均点は、69点であった。</p> <p>問1 「そう思う・ややそう思う」が全体の約約92% 更に学生からの要望の対応に努める。</p> <p>問2 「そう思う・ややそう思う」が全体の約76% シャトルシートの取り組みがアクティブラーニングであることを繰り返し説明する。</p> <p>問3 全体の67%の学生たちが30分～1時間の学外学修時間が確保でき約8%の学生たちが1～2時間そして、約25%の学生たちは30分未満しか確保が出来ていない。この学生たちの割合を少なくするために検討する。</p> <p>問4 シラバスの到達度は、「ほとんど達成できた・かなり達成できた」が全体の約46%、学生の理解度を押し量りながら工夫をしていく。</p>

	教職員氏名	科目名	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
保	金川 朋子	特別支援教育Ⅰ (1・2・3組)	授業内で提示するPPにおいて、教科書のページ数を明確にする。 授業内で提示するPPのスライドについて、新たなスライドを提示するときには、都度、確認を行った。(個人差が大きいため、授業後個別対応に応じた)	1名が「あまり達成できなかった」という回答であり、その他は、「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」「少し達成できた」との状況であった。 前期は基礎的な内容なので妥当な結果だと考える。
		特別支援教育Ⅰ (4・5・6組)	授業内で提示するPPにおいて、教科書のページ数を明確にする。 授業内で提示するPPのスライドについて、新たなスライドを提示するときには、都度、確認を行った。(個人差が大きいため、授業後個別対応に応じた) 改善点について、肯定的にとらえてもらえていたので、安心したが、今後も、学生が理解しやすい授業づくりに努めたい。	3名が「あまり達成できなかった」という回答であり、その他は、「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」「少し達成できた」との状況であった。 前期は基礎的な内容なので妥当な結果だと考える。あまり達成できなかったという回答については、どのような点が難しく感じたのか、なぜ、そのように感じたのかを知る方法がないが、後期の授業では、適宜、理解度を確認して授業を進めたい。
保	千田 耕太郎	幼児と音楽Ⅰ (1・2・3組)	この授業は複数教員が担当しているので、中間アンケートの結果を全員で共有した。 ただ、改善を必要とするような要望は今回は無かった。	シラバス到達目標達成状況について、アンケート結果では、「ほとんど達成できた」28%、「かなり達成できた」31%、「少し達成できた」41%で、「あまり達成できなかった」と「ほとんど達成できなかった」は0%であった。学生の成績と自己評価はほぼ一致しており、学生達は客観的に自分の成果について評価できているように思う。 今後の課題としては、到達目標の達成度を上げるための予習・復習に充てる時間がまだまだ足りないと感じており、具体的な手立てが必要であると感じている。
		幼児と音楽Ⅰ (4・5・6組)	この授業は複数教員が担当しているので、中間アンケートの結果を全員で共有した。 ただ、改善を必要とするような要望は今回は無かった。	シラバス到達目標達成状況について、アンケート結果では、「ほとんど達成できた」37%、「かなり達成できた」37%、「少し達成できた」26%で、「あまり達成できなかった」と「ほとんど達成できなかった」は0%であった。学生の成績と自己評価はほぼ一致しており、学生達は客観的に自分の成果について評価できているように思う。 今後の課題としては、到達目標の達成度を上げるための予習・復習に充てる時間がまだまだ足りないと感じており、具体的な手立てが必要であると感じている。
保	松下 明日香	幼児と健康 (1・2・3組)	中間アンケートでは配布資料への記入について、もう少し時間が欲しいという意見があった。スライドの切り替えの際に、進んでもよいか声をかけたり、授業後に見逃したスライドを再表示できることを伝えたり等して対応した。	おおむね達成できたと言える。繰り返し要点を伝えた分野や、実際に子どもに対する援助をペアワークする演習等、実践を伴った学びについては、定着していることがうかがえた。いかに学生の理解を深め、実践力につながる学びを提供できるか、教授方法の改善を重ねていきたい。
		幼児と健康 (4・5・6組)	グループワークが苦手、やグループワークをする際に、ペアを明確に指定してほしいという意見があった。隣・前後など明確にペアを指定するとともに、欠席者がおりペアがない学生に対しては、教室を巡回し教員がペアを指定するようにした。	おおむね達成できたと言える。繰り返し要点を伝えた分野や、実際に子どもに対する援助をペアワークする演習等、実践を伴った学びについては、定着していることがうかがえた。いかに学生の理解を深め、実践力につながる学びを提供できるか、教授方法の改善を重ねていきたい。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	森 麻希子	保育内容演習(総合表現) (1・2組)	中間アンケートの結果について、記載があるものはポジティブなものが多く見られた。改善点については特になしがほとんどであったが、一部、意見の伝え方について記載があった。 授業の取組みの一つとして、子ども向け創作ミュージカルを作り上げていく過程で、学生同士で言葉が強くなってしまふことがあるため、学生からの相談を受けながらフォローをしつつ、全体的に注意した。また教員からのアドバイス時には学生の気持ちに配慮し、慎重に言葉を選び必要な指導を行った。	回答者の中で、学生の自己評価と実際の成績について大きな差異は見られなかった。到達目標について概ね達成したと思われる。 今年度は小グループの活動を増やし、各担当者と連携し授業内容の見直し図ったが学生からも達成感、充実感を得られたと聞いており、最後の課題発表では学生達の成長が見られた。 時間配分や、学生同士の関係性は毎年の課題として挙がってくるため、そのことにも留意しつつ次年度では更にブラッシュアップできるようにしたい。
		保育内容演習(総合表現) (3・4組、5・6組)	中間アンケートの結果について、改善点については特になしが大多数であったが、時間が足りないという意見が少数見られた。 授業の取組みの一つとして、子ども向け創作ミュージカルを作り上げるのだが、一定の期間内で集中して取り組むため、各担当者と連携しながら時間を最大限取るようにした。クラスの雰囲気、演目内容などにも左右される部分があるので、毎年の検討課題ともいえる。 限られた時間の中で無理なく充実した経験ができるよう、各担当者と連携しブラッシュアップしていきたい。	回答者の中で、学生の自己評価と実際の成績について大きな差異は見られなかった。到達目標について概ね達成したと思われる。 今年度は小グループの活動を増やし、各担当者と連携し授業内容の見直し図ったが学生からも達成感、充実感を得られたと聞いており、最後の課題発表では学生達の成長が見られた。 時間配分や、学生同士の関係性は毎年の課題として挙がってくるため、そのことにも留意しつつ次年度では更にブラッシュアップできるようにしたい。
保	阪江 豪	幼児と人間関係	学生のより良い理解に向けて、授業の構成やグループワークを取り入れた。	概ね到達できている。
		教育実習指導Ⅱ	学生の理解を促し、実習に備えられるよう、模擬保育を実施した。	実習に対する準備学習ができ、目標についても概ね到達できた。
保	長谷 秀揮	保育内容演習 (1・2・3組)	具体的で分かり易く、特にレジュメ及びパワーポイントを活用した毎回の授業形式と、写真や録画またDVDなどの視聴覚教材を積極的に利用した授業スタイルがその分かり易さにつながっている、といった学生からの意見が多数あり意を強くしました。学生からの意見を日常的かつ継続的に参考にしながら、毎回のレジュメやパワーポイント及び視聴覚教材のさらなる充実に取り組み、授業の工夫及び改善を図るようにしました。	シラバスの到達目標の達成状況については、アンケート結果及び学生の成績から見ると少数の学生を除き、おおよそ達成できていると考えられます。しかし十分に達成できていないと考えられる学生がいることも少数とはいえ明らかなので、より多くの学生がシラバスの到達目標を十分に達成できるように、さらなる配慮と工夫が必要であるといえます。学生の理解と習熟をより促すことが出来るように、授業の工夫及び改善をいっそう図っていくようにしたいと考えます。
保	岡山 貴範	保育内容演習環境・健康 (1・2・3組)	中間アンケートの結果から、配布プリントに全員が無理なく書き込めるよう学生に確認しながらパワーポイントのスライドを進めた。また、実際に作ったり体験することで楽しく理解し学べていたので後半も継続しておこなった。	アンケート結果と成績からシラバスの到達目標に概ね達成されたと感じている。今後の課題としては講義内容の理解度をもっと高めていけるように、学生と対話を通して講義内容の理解度を確認しながら進めていくことが必要だと思った。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	竹歳賢一	情報基礎	授業進度が早いという意見があったので、指示等が通っているかを常に確認しながら授業を進めた。	8割の学生が目標達成できているので、概ね達成目標も適切であったと思われる。今後の課題として、目標達成が難しいと予想される学生に対しては、演習時に学習の進捗状況を確認して、適切なアドバイスができるよう指導したい。
保	大森由美子	子ども文化Ⅰ	童謡や手遊びをたくさん学べて良かったとの記述が多かったので、後半の授業にもそれを継続し行った。 改善を求める要望は特になかった。	学生のアンケート結果は「ほとんど達成できた」32%、「かなり達成できた」26%、「少し達成できた」40%と、実際の成績より厳しい評価であった。今後は学生の達成感を高めるため教員が授業内でより積極的に評価を伝えていきたい。
保	渡邊みのぶ	日本国憲法と人権 (1・2・3組)	中間アンケートのうち、授業改善が必要と思われたコメントが「話が長い」について、授業パワーポイントの「強調ポイント」を減らし、資料枚数も減らし、授業時間を10分程度短く終了出来るよう心がけた。	課題を2点。アンケート提出数が少ない点。さらに、今回15回の授業態度と期末試験の成績を概観し、改めて「人権」というものを「自分ごと」に感じてもらう事の難しさを痛感した。「暗記」科目で面白くないという印象を、「社会問題」に対し「関心」を持つ経験を通じ、「権利」という「法的ルール」と結びつく必要があるかにまで「変換」させることができたのだろうか。「権利」というのは、全ての人が人生で直面した問題に対し、「声を上げるべきだろうか」という心理的葛藤を克服したうえで、「主張」しようと「到達」に至るものである。その「経過」を知りたい、当事者の訴えを傾聴してみようという情熱を、受講生にどのように育ててゆけばよいのか、今後の課題である。
		日本国憲法と人権 (4・5・6組)	中間アンケートのうち、授業改善が必要と思われたコメントが「資料の移行が長早い」という回答を受け、授業パワーポイントの資料枚数を減らし、可能なかぎり、ゆっくりと空欄内記入時間をもうけるよう改善した。	課題を2点。アンケート提出数が少なく、3時限に比べ授業欠席回数についても、こちらのクラスが多かった。やはり、「人権」というものを「自分ごと」に感じてもらう事の難しさを痛感した。「暗記」科目で面白くないという印象を、「社会問題」に対し「関心」を持つ経験を通じ、「権利」という「法的ルール」と結びつく必要があるかにまで「変換」させることができたのだろうか。「権利」というのは、全ての人が人生で直面した問題に対し、「声を上げるべきだろうか」という心理的葛藤を克服したうえで、「主張」しようと「到達」に至るものである。その「経過」を知りたい、当事者の訴えを傾聴してみようという情熱を、受講生にどのように育ててゆけばよいのか、今後の課題である。
保	多田 知正	子ども文化Ⅲ (Webデザイン)	中間アンケートからは、特に改善の要望等は見られなかったが、学生によってPCの操作スキルに差が見られたので、授業の進行にあたって配慮するようにした。	授業ではPCによる作業が中心であり、PCを持っていない学生が多かったため、授業外での取り組みは少なかったが、課題については各自熱心に取り組んでおり、到達目標については概ね達成できたと考えられる。
保	辻本有里恵	保育・教育課程論 (4・5・6組)	授業のスピードが速い意見は、全体的に「理解ができたか」など丁寧に声をかけ、授業後の個別対応も行った。次に、パワーポイントの文字の太さや大きさを変更した。照明については、授業内で動画や写真を見て考えることもあるので、状況に合わせて調節した。	アンケートより、一人を除き全員が「達成できた」と回答し、試験成績からも理解していることが裏付けられた。 今後も、対話型授業を導入し、学生一人一人に目を配り心を寄せながら、学びを深めることを目指す。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
保	竹永知弘	日本語表現 (1・2・3組)	丁寧なフィードバックを心がけた。	問題なく実践できたと考えている。
保	大庭夕穂	英語(英会話A) (4・5・6組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の進度に関しては、学生が板書する時間を十分にとれているか、授業内容についてこられているかを確認しながら進めるようにしました。</li> <li>・「授業中に当てないでほしい」という意見に対しては、当てることの意義を説明した上で、発言する前に考える時間や学生同士で相談する機会を設けました。</li> </ul>	<p>本科目は、保育現場において、日本以外で生まれ育った子どもたちとコミュニケーションが取れるよう英語の基礎力を身に付けるとともに、異なる文化を理解し受け入れる寛容性や柔軟性を養成することを到達目標としています。前期の授業を通して、学生はテキストの内容に即した問題を解くだけでなく、実際に使う場面を意識して学習を進めました。</p> <p>また、異文化との接触や交流について自分の意見を述べる活動も行いました。アンケート結果と成績の両方を鑑みて、シラバスの到達目標は概ね達成できたと考えます。一方、ペアワークやグループワークの時間は限られていたため、学生同士で協力して発信する機会を設けることが今後の課題です。</p>
保	安藤準佑	保育原理 (4・5・6組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PPT資料の文字が見えにくい箇所があるという意見については、文字サイズを大きく変更し、見やすいように対応した。さらに、大切な箇所は数回読み上げることや、後ろの座席の学生に見えているか声掛けするなどの工夫をした。</li> <li>・資料の大切な箇所は、色を変えるなどの配慮をしてほしいという意見については、文字のフォントを変えて目立つように対応した。ただし、語句だけを暗記しても理解が進まないで、その語句の説明や背景なども意識して頭に入れるように学生たちへ伝えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で伝えた大切な箇所は、全体的にしっかり理解してくれている学生が多かったという印象である。</li> <li>・また、授業で学んだことを踏まえて、現代の制度に対して自身がどう考えるかにおいては、それぞれに考える機会にもなったと考える。</li> <li>・一方で、科目の傾向として、講義中心の授業が多くなりがちだったので、グループワークやディスカッションなども工夫して取り入れていけたら、さらに学生たち自身が自分なりの考えを持つきっかけとなるだろう。</li> </ul>
保	川松智子	子ども文化II	<p>中間アンケートではおおむね授業に対する満足度が高かったため、後半も同じ内容で進めていきました。</p> <p>腹話術の練習を通して人前で話すことに慣れ、パペットを制作する中で自分で作り上げる達成感を感じることが出来たようです。</p>	<p>自分自身が考えたオリジナルパペットを制作し、台本を考えて、皆の前で発表する中で自己肯定感が上昇したと思います。最終日には北条こども園さまのご協力を得て、実際に子どもたちを前にして腹話術公演が出来たことも自信に繋がったと思います。</p> <p>腹話術を学ぶ中で生徒間の交流も生まれたので、この後の学生生活でも生かしていただきたいと思います。実習および就職活動にも活用し、さらに腹話術がもつ【話す、伝える、共感する】などの魅力を発展させてほしいと思います。</p>
保	福鹿 慶子	乳児保育I (1・2・3・4・5・6組)	<p>幼児体操や手遊びなど適度に取り入れながら授業を進める工夫をした。また、コメントシートを使い、次の授業にコメントを書き返却できるように心がけた。</p>	<p>ある程度到達目標に達することができたが、居眠りをしている学生については理解ができていなかったように思う。アンケート結果にもあるように、グループワークや質疑応答なども取り入れながらその都度理解できたか確認しながら進めていきたい。</p>

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	中川 玲子	食の科学A	1名のみではあったが「授業の進行が速い時がある」と回答されたので、全員の筆記が終わるのを確認して授業を進めた。 他に改善要望はなかった。	中間アンケートでは、授業の良い点について「DVDもあり、わかりやすく楽しんで学べる」「書く量(講義)と動画のバランスが良い」「動画があるからわかりやすい」「動画を見て書き込むことで理解がしやすい」「ノートの筆記箇所が、パワーポイントにわかりやすく記されている」「栄養の話だけでなく、動画でレシピを紹介してくれるのが良い」など回答者11名中10名が授業を肯定的に捉え、具体的に良いところを指摘した。シラバスに示されている到達目標の達成状況について、授業評価アンケートでは「ほとんど達成できた」17%、「かなり達成できた」50%と、合わせて67%の学生が達成できたと回答しが、一方、実際の成績では100点満点中80点以上の学生数は50%に留まっていた。今後は成績アップを意識した授業へと改善し、シラバスの到達目標の達成状況に対する学生の意識と実際の達成状況である成績とのギャップを埋めることが課題であるといえる。
		卒業ゼミ(発展)	中間アンケートでは、改善してほしい点の記述はなかった。	シラバスに示されている到達目標の達成状況について、授業評価アンケートでは「ほとんど達成できた」75%、「かなり達成できた」25%と、合わせて100%の学生が達成できたと回答し、実際の成績も全員が100点満点中80点以上と、達成状況の結果が一致していた。このように学生の意識に、実際の成績が伴って、シラバスの到達目標が達成された。
ラ	伊東めぐみ	医療事務1 (火曜2限)	中間アンケートで何件かあった学生の意見として、授業の進み方が早いので、もう少しゆっくり進めてほしいという意見がありました。毎年この授業評価でみられる意見で、その年度の学生の様子に合わせて、授業速度を調節しています。ただし、最後の単元まで進めなくてはいけないという範疇での工夫としなければならず、毎年苦慮するところです。今年度は、書く速度、計算する速度が若干遅い学生が見受けられたので、問題を解く時間をできる限り取りました。最終評価ではそう思う・ややそう思うが合わせて約90%を占める結果でした。	学生の成績は、秀・優合わせて40%、良が40%、不可が20%という結果で、授業評価アンケートの結果はかなり達成できたという回答が22%、少し達成できたという回答が44%、あまり達成できなかった、ほとんど達成できなかったという回答を合わせて33%だったので、自己評価のほうが少し低い結果でした。授業担当者としては、おおむね到達目標に達していると評価できる学生が8割程度の実感を持っています。今後の課題としては、毎回課題として挙げられることですが、できるだけ深く、広く学べることと、成績不良者を出さない丁寧な指導、2つのバランスを取りながら授業を行っていくことです。
		医療事務1 (水曜3限)	この授業は、1つの科目を2コマに分けて実施しており、そのうちの2科目目で、どちらも授業評価を行う授業に設定しています。こちらのクラスは1科目目と違い、中間アンケートで学生からの意見等がありませんでした。授業担当者としては、1科目目のクラスと同じように、授業速度についてももう少しゆっくり進めてほしい学生がいる可能性があると感じて、こちらのクラスも同様に問題を解く時間を長く取るようにしました。	学生の成績は、優が25%、良・可合わせて56%、不可13%という結果で、授業評価アンケートの結果はほとんど達成できた・かなり達成できたという回答が42%、少し達成できたという回答が43%、あまり達成できなかった、ほとんど達成できなかったという回答を合わせて14%だったので、自己評価のほうが高いという結果でした。1科目目のクラスの授業評価アンケートと比べると、自己評価が高く表れました。授業担当者としては、目標におおむね到達できている学生は約3割、十分ではないが基準以上の到達点には達していると感じられる学生が約6割という実感です。今後の課題は、1科目目と同様です。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	工藤真由美	日本語表現法【い】	中間アンケートの要望は、パワーポイントを印刷して書き込みができるようにしたプリントを毎時間配布しているが、その書き込み欄の大きさが小さいという意見であり、7名いた。ほかの要望はなかった。それに対して、印刷済みのプリントがあるため、それを破棄することは難しいので、印刷済みの授業回が終了したならば、書式を改良すると約束した。アンケートでは、改善されたが90%であり、あまり改善されていない10%を大幅に上回った。しかしまだ10%は小さいと感じているので、今後工夫したい。	予習復習に関してはシラバスに30分から1時間と記している。アンケートでも89%がそれに該当し、さらに1~2時間も11%存在する。授業への積極的参加を促す工夫がされているかに対しては、94%が該当すると答えている。到達目標の達成状況もほとんど達成22%、かなり達成50%、少しは達成28%となっている。実際に到達度は、かなり達成に該当するのが79%、ほとんど達成に該当するのが21%であり、授業への積極的参加を促すアクティブラーニングの意図もしっかりと感じ取り熱心に取り組んでいた。以上の定められた予習復習の実施、アクティブラーニングの意図を理解し積極的な授業参加など、すべてが一体となり高い%での到達目標の達成に至っている。
		日本語表現法【ろ】	中間アンケートの要望は、パワーポイントを印刷して書き込みができるようにしたプリントを毎時間配布しているが、その書き込み欄の大きさが小さいという意見であり、6名いた。それに対して、印刷済みのプリントがあるため、それを破棄することはむづかしいので、印刷済みの授業回が終了したならば、書式を改良すると約束した。アンケートでは、改善されたが95%であり、あまり改善されていない5%を大幅に上回った。しかしまだ5%は小さいと感じているので、今後工夫したい。もう一つの要望は、1名から毎時間実施の小テストの答え合わせ後の間違い直しの時間が短いというものであった。授業中は基本的に直しをする時間は設けておらず、小テストは回収後即日返却しており、授業後その日のうちに直しができると説明した。	予習復習に関してはシラバスに30分から1時間と記している。アンケートでも28%がそれに該当し、さらに1~2時間も11%存在する。しかし30分未満が50%と大半を占めている。授業への積極的参加を促す工夫がされているかに対しては、67%が該当すると答えているが、33%はあまり工夫されていないと回答していた。授業への積極的参加を促すアクティブラーニングの意図をしっかりと感じ取り熱心に取り組んでいた(取り組んでいなかった)割合と一致している。到達目標の達成状況もほとんど達成6%、かなり達成28%、少しは達成61%、ほとんど達成できていないが6%となっている。実際に到達度は、ほとんど達成に該当するのが27%、かなり達成に該当するのが50%であった。ほとんど達成していないも6%いた。自己意識は下振れしているものの、予習復習の時間、授業への参加度、到達目標すべての割合がほぼ実態と一致していた。シラバスに定めた30分以上の予習復習、積極的な授業参加が、授業目標の到達に不可欠であることの理解をさらに増やすことが今後の課題である。
ラ	安谷 元伸	卒業ゼミ(発展)	中間アンケートでは改善の要望等がなかったため、作業時間を十分に確保しつつ中間アンケート前と同じく授業を展開した。	問1及び問2において「そう思う」が100%、問4においても4名中2名が「ほとんど達成できた」1名が「少し達成できた」と回答しており、この授業の目標をほぼ達成できたものと判断できる。今回少数の授業でのアンケートとなったものの、1名が欠席等でタイミングが合わずアンケートに回答をしていなかった。連絡等は再3行ったものの、14、15回目の授業欠席者へのアンケート徹底の方法の模索についても今後取り組んでいきたい。
		ウェブデザインII	中間アンケートでは、昨年まで提示について要望が寄せられることがあったものの、今年度は可能な限り対応したこともあり、資料提示等も含めて改善の要望は特になかった。そのため、中間アンケート後もその前と同じ授業展開で進めた。	問4「この授業のシラバスに示されている徹底目標をどの程度達成できたと思いますか」では、「ほとんど達成できた」2名、「かなり達成できた」2名、「少し達成できた」2名であり、達成できなかったとの回答はなかった。その一方で、問2の「この授業は、積極的な参加を促すための工夫がなされていましたか」では、1名が「あまりそう思わない」と回答しており、コンピュータを用いる実技系授業であっても視点を変えた授業参加の取り組みの必要性を改めて感じた。次年度以降、そのような工夫を取り入れていきたい。



	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	河合 真知	ビジネス実務演習	<p>中間アンケートから2点について改善・工夫をおこなった。</p> <p>1点目は、「進行が速い」とのコメントがあった。秘書検定の受験を想定した演習も含んでいることから、当初予定の進行を大幅に変えるわけにはいかないが、速いと感じないよう、配布資料で調整を行った。</p> <p>2点目は、「PPTが見にくい」とのコメントがあった。昨年も見やすく拡大したが、履修者増等により、教室の変更や投影機器が変わったことも影響したと考え、更に見直しをおこなった。</p>	<p>授業評価アンケートの結果と学生の成績は、概ね合致していると考える。</p> <p>成績は、Sが4%、Aが19%、B54%、C15%であった。アンケート結果は、「ほとんど達成できた」4%、「かなり達成できた」46%、「少し達成できた」50%である。この結果から、学生にとってこの授業は少し難易度のある授業であったとかがえるが、「達成できなかった」と回答した学生はいないことから、全体の成績を上げるには効果のあるレベル内容だったと推察する。本授業の履修者の内1年生16名が秘書検定2級に6月に合格した事も成果と言え、シラバスの到達目標を達成していると考え。この成果を後期の「ビジネス総合演習」につなげていきたい。</p>
		キャリアデザイン[B]	<p>中間アンケートから、2点の指摘にまとめる。1点目は、授業進行のスピードについてである。「スライドの切り替えが早いのでゆっくりしてほしい」「特に授業後半にスピードが速くなるのでしんどい」との指摘であった。スライドについては、確認しながら切り替えるようにし、また、予定通りの進行にこだわらず、次回持越しも良しとして進めるようにした。</p> <p>2点目は、「スーツ着用をやめてほしい」「スーツで暑いのでクーラーをもっと効かせてほしい」とのコメントがあった。スーツをやめることはできないが、教室の温度設定についてこまめに確認するようになった。</p>	<p>授業評価アンケートの結果と学生の成績から、シラバスの到達目標は達成できていると考え。アンケートでは、「達成できた」の合計が89%（「ほとんど達成できた」17%、「かなり達成できた」44%、「少し達成できた」28%）であった。一方、成績は、S・Aあわせて82%であり、概ね合致している。本授業では、将来のキャリア形成に向けて自己探索を様々な方法でおこなってきた。学生自身が、自己理解が少なからず進んだと感じている結果だと考える。</p> <p>今期は、大学生用の職業VRTレディネステストを最後に導入した。「それまでの自己探索に納得感が得られた」と、学生のコメントにもあり、実施は有効であったと見受けられる。今後も継続したい。</p>
ラ	中川明仁	人間関係論	<p>学生からの改善希望として、以下の2点が挙げられていた。</p> <p>①パワーポイントとスクリーンのサイズがあっておらず、横の文字がはみ出している見えにくい</p> <p>②ノートする内容が多い</p> <p>①について、プロジェクターのリモコンにてサイズの変更が可能か試してみるも、それも不可であったため、清風事務室に相談。「あるものを使っていただくしかない」との回答であったため、その旨、学生にも授業内で回答する。なるべく、横にはみ出さないようパワーポイント作成時に配慮した。</p> <p>②について、ノートテイクすることで学生の理解が深まると考えているが、数名の受講生から同様の意見が出ていたため、ノートする箇所を減らす対応をした。</p>	<p>毎度の授業に出席している学生の成績は概ね良好であり、欠席が目立つ学生の成績が不良である傾向が示された。</p> <p>したがって、授業に出席して説明を聞き、ノートをとっていただければ十分に対応可能な課題（試験）の設定であったと自己評価する。</p> <p>シラバスの到達目標も概ね達成できていたと自己評価する。中間アンケートの中で、「具体例（実体験）を交えた話をしてくれるのでわかりやすい」との意見が出されていたので、今後の授業においても学生が想像しやすい卑近な例を挙げながら授業を進めていきたい。</p>
		自分探しの心理学	<p>学生からの改善希望として、以下の1点が挙げられていた。</p> <p>・パワーポイントとスクリーンのサイズがあっておらず、横の文字がはみ出している見えにくい</p> <p>→プロジェクターのリモコンにてサイズの変更が可能か試してみるも、それも不可であったため、清風事務室に相談。「あるものを使っていただくしかない」との回答であったため、その旨、学生にも授業内で回答する。なるべく、横にはみ出さないようパワーポイント作成時に配慮した。</p>	<p>学生の出席状況と成績が概ね比例関係にあることが示されていた。</p> <p>授業に出席して説明を聞き、ノートをとっていただければ十分に対応できる課題（試験）であったと考えている。</p> <p>シラバスの到達目標も概ね達成できていたと自己評価する。授業後の振り返りシートにて、受講生からの質問も受け付け、翌週の授業の冒頭で回答することを続けていたが、その取り組みへの肯定的なコメントを得られていたので、今後の授業においてもその取り組みは継続していきたい。</p>

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	久保 覚司	医療事務総論(月3)	各スライドを説明後に、一定時間の書き写す時間を設けた。 また板書についても、これまで以上に大きく見やすく書くことを心がけた。	次年度以降は見直しを考えている。 (到達目標の達成を重視するあまり、想定よりも時間が足りず、自宅学習の時間を増やしてしまうことになったため) 現在はコンピュータ関連科目以外はGoogle Classroomの利用が許可されていないが、スライド資料の公開等が必要かと考えている。
		ICDコーディング演習1	座学中心となっしまい、寝落ちする学生が多く見られた。 穴埋めプリントを配布したが、あまり効果は見られなかったように感じている。	到達目標は概ね達成でき、学生の理解度も満足する結果となった。 ただし、中間アンケート時にも感じていたが、学生を寝させない工夫が困難であると思っている。(座学から変更が難しいため)シラバスの大幅見直しも考慮して検討したい。
ラ	吉井 珠代	公衆衛生学	ほぼ毎回視聴覚教材を使用しているため、「見づらい」や「映像の切り替えや説明をゆっくりしてほしい」、「映像を大きく見やすくしてほしい」等の希望に応えた。	今回、レポートによる期末試験を実施したが、「授業内容を理解した」と判断できる回答は、ほぼ得られなかった。 今後は、授業毎の学生の理解度を確認できるよう、「リアクションペーパー」を活用するとともに、期末試験の「試験問題(回答で何を求めているか)を、学生が理解できるように説明を工夫しなければならない」と思う。
ラ	伏木 真理子	英語 (英会話A) い	テキストの進行を早くしてほしいとの声があったので、設問の解説のうち、アメリカでの生活や仕事の実体験の話減らして、文法の解説に集中するようにした。テキスト本文等の和訳がほしいとの声があったので、ユニパにて配信するようにした。	学生の授業評価アンケートの結果は、ほとんど達成できた19%、かなり達成できた44%、達成できなかったは0%だった。学生の成績は、秀が22%、優が57%だった。(習熟度別クラス編成の影響有り。)基本的な英文法の理解促進、日常生活やビジネス分野の語彙習得はできたと思う。予習・復習および課題に当てた時間は、1週間で30分未満が75%だったので、小テストをするなどの工夫をしようと思う。コロナ禍も落ち着いてきたので、席を離れて自由に動きいろいろなクラスメイトと会話をするアクティビティを試みたところ、全員でテキストを音読する時よりも声が出たので、今後もやっというと思う。
		英語(英会話A) ろ	テキスト本文等の和訳がほしいとの声があったので、ユニパにて配信するようにした。また、文法の説明を増やすようにした。	学生の授業評価アンケートの結果は、かなり達成できた18%、少し達成できた59%、達成できなかったは18%だった。学生の成績は、秀が9%、優が43%、良が13%だった。(習熟度別クラス編成の影響有り。)基本的な英文法の理解促進、日常生活やビジネス分野の語彙習得は概ねできたと思う。しかし学生アンケートでほとんど達成できなかったが6%あったため、より丁寧な、易しい表現での文法解説が必要と思う。予習・復習および課題に当てた時間は、1週間で30分未満が67%だったので、小テストをするなどの工夫をしようと思う。コロナ禍も落ち着いてきたので、席を離れて自由に動きいろいろなクラスメイトと会話をするアクティビティを試みたところ、全員でテキストを音読する時よりも声が出たので、今後もやっというと思う。

教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ 黒田恭史	文書処理演習Ⅰ (Word) [A]	学生のニーズに応じて、授業のスピードを調整・修正した。	到達目標について、かなり達成できたと考えている。
	文書処理演習Ⅰ (Word) [B]	学生のニーズに応じて、授業のスピードを調整・修正した。	到達目標について、かなり達成できたと考えている。
ラ 佐々木研	ファッションビジネス概論	講義だけでなく、ワークを中心に授業を展開。	概ね達成している。
	ファッションビジネス演習	講義だけでなく、ワークを中心に授業を展開。	概ね達成している。
ラ 岡本久仁子	表計算演習Ⅱ	教科書が終わった後は、練習問題を自分のペースで行えるようにした。	真面目に取り組んでいた学生が多く、目標を達成できたと思う。
ラ 倉津三夜子	アロマセラピー (演習含む)	1. 5人中4名から、"授業中、眠くなる。"という記入があった。リラックスするから?、アロマの香りのせい?学生たちからもいろいろな意見と改善案があった。そこで、授業時間を3つに区切って、2回の7分前後の休憩時間を設けて、各3パートの学習テーマをホワイトボードに記し、全体の流れを伝えた上で話し方にメリハリをつけるようにした。睡眠傾向は弱まった。 過去の授業アンケートでは、良い点について、受講する価値を実習に見出している解答がほとんどだった。本年度は、香りについて、そしてアロマセラピーについて、多様な知識やエピソードを学べることを授業の良い点としてあげている学生が何名もおられた。 これを受けて、後半の授業ではこの機会に知っておいてほしい基本カリキュラムに含まれていない要素も伝えるようにした。5名のうち4名がJAA認定を受けることを希望されたことから関心の深さを感じられた。	授業評価アンケートへの回答は得られなかった。学生たちに聞いたところ、試験で頭がいっぱいで回答できなかった、との声が帰ってきた。これは、私自身が、アンケートに回答するように促すことを怠ったためと思われる。次回からは、アンケートに回答することが受講する本人にとって大切な機会であることを伝え、回答を得られるようにしようと思う。 アンケートへの回答は得られなかったが、最終の授業とJAA認定試験の日に受講生たちと話して、シラバスに記した達成目標が達成できているかどうか、確認することができた。また、出席率、レポート試験の結果からも、授業中に眠気と戦って負けることが多く見られたのにも関わらず授業の各回で伝えたかった要素は十分に伝わっていたことがわかり、シラバスに記した目標は達成できたことを認識できた。卒業後は仕事の中で、日々の生活の中で、活かしていただきたい。
ラ 森石加世子	心理学演習	授業態度については、心得ているとの意見がありましたので、授業の最初に行う授業態度に対する注意喚起をできるだけ控えるようにしました。それにより、授業態度の良い学生はさらに、良い態度になりました。一方、授業態度に問題のある学生については、注意喚起を行っても変化が見られず残念でした。	シラバスの目標を十分に達成できたと考えられます。
ラ 鶴田美香	色彩の基礎Ⅰ	授業についてこれていない子のフォローに時間を取られていたため、ワークが難しい子を一度に集めワークと説き方を説明した。 そうする子で他の生徒への時間が十分に確保することができた。	授業への積極的参加が評価に反映されていました。
ラ 三埜 保	国内観光地巡り	書くことが多すぎるや面倒くさいとの要望があり、筆記することで覚えられたり記憶に残ることも多いと思うが、筆記することを減らすよう地名やポイントだけ記載できるように( )内に重要事項を記載し覚えることができるように工夫をした。	地図を使って観光地名や特産品、位置や交通を理解したり調べることが、早くなった。積極的に授業に参加した結果が見られたと思います。 今後は、もっと画像や映像を使いより興味を示すような工夫をしていきたいと考えます。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	山岡正弘	カフェブランニング	全体の進行後に個別に対応する。	興味の持てる内容と進行の重要性を感じる。今後の課題として、第一回目のオリエンテーションの内容と進行の見直しを必要とする。
ラ	兵頭真由美	ビジネス実務総論	中間アンケートで、授業に関する良い点として、「わかりやすい」、「授業の進め方のスピードがちょうどよい」「演習問題や小テストがたくさんあり問題を解くことが多いので頭に入りやすい」、「ビジネスのことが学べ、秘書検定試験対策もしてもらえる」、「将来役立つ知識がたくさん学べる」などのコメントをいただきました。また、授業についての改善点では、無記入または「特にない」など好評でしたが、さらに学びを深めてもらうよう、小テストや課題での学生さんそれぞれの苦手なところを確認し、細かくアドバイスしながら授業を進めました。	アンケートと最終評価によりシラバスの到達目標も達成できたと考えます。今後のクラスでも理解を深めてもらえるよう、課題、小テスト、授業の進め方など工夫してまいります。
ラ	藤堂隆司	診療情報管理論B (関係法規含む)	中間アンケートでは、これといった問題点は指摘されなかったが、前後半通して振り返りテストを行い、後半は、がん登録演習やパソコンを用いた参加型授業を取り入れるよう工夫した。	学生評価から見たシラバスの達成度では、90%の学生が達成したと回答した。成績の評価も、一人はC評価であったが、それ以外の学生はS及びA評価であった。
ラ	松谷治代	ブレッド&テーブル演習	特に改善を願う内容はなかったため、引き続き、満足感を上げる授業を行った。	授業が6月いっぱいまで終了する為、授業評価アンケートは行っていません。学生たちにとって、シラバスの到達目標以上の満足度が得られたと思う。
ラ	黒川圭子	スポーツ I	教場である体育館の室温、WBGT値を確認して、実施時間を調整したり、休憩は多めに取り、場所は冷房の効く研究室(事務所の許可確認済み)を利用して熱中症対策には気をつけた。 実施内容は、レクリエーションスポーツを追加したり、学生の意見を取り入れたりしながら、出来るだけ集中力が維持できるように進めた。	基本ルールの理解度は、ほぼ出来ている学生7割程度。実践能力は、個人差はあるが全員成長が見られた。 技術的に低い能力の学生を、フォローする体制が学生同士で自然に見られた。 勝敗を意識した熱のあるプレーや、上手くなりたいと意欲的な学生も見られた。 勝敗だけに限らず、何よりスポーツを楽しむことや自身の体力を知る機会にもなっていたことから、目標は達成できたと考える。 今後とも、学生の得意不得意に考慮しながら、グルーピングや必要に応じて内容を修正し、授業を進めていこうと考える。
ラ	能美 智子	医療事務III (DPC含む)	90分のうち間で少し休憩時間が欲しいとの意見がありました。内容が講義中心で集中力が続かないような日は、リフレッシュできるように間で休憩を入れてみました。少しの休憩でも効果があったので次年度も入れてみようと思います。	2名の学生がシラバスの到達で「少し達成できた」と回答しています。成績についてもCの学生がいるため、内容を理解しているかフィードバック時に確認すること、授業を休まないことも含めて指導していきたいと思っています。
ラ	瀬口昌生	プレゼンテーション概論	中間アンケートでは特に改善点が挙げられていなかったため、各受講者へのアドバイス・サジェスチョンを増やすよう心掛けた。	プレゼンテーション実施前の準備段階において、個々の作成時間に差異がある。そのため、一律に定めた回で実践に至らせることが多少困難であった。しかしながら、早く作成を終えた受講者には更にアドバイスを加えることが適ったため一定の成果を収めることはできた。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	杉本 篤史	簿記入門	説明が少し早くなる場所があったので、丁寧にするように心がけた	毎回行う小テストの成績が今までで一番よかった。皆さん頑張ってくれたと思います。
ラ	堂東由佳	実践デザイン演習・色彩の演習	1、油性のインクの臭い対策 →今年度は完全に水性インクで授業を行った。 2、待ち時間の対策 →制作の各工程をスムーズに行えるよう、学生それぞれの制作スケジュールを随時アナウンスし、記録させるようにした。	シラバスの到達目標に概ね到達したと思われます。 シルクスクリーンの技術を修得し、丁寧に作業することや、工夫することを学習しました。作品やオリジナルのグッズ、雑貨制作を通して、学生が自分の生活を豊かにするための選択肢が増えていくことを期待します。昨年度よりも「オリジナル」ということに注目し、アイデア出しや構想の時間を多く取ることができました。 今後の課題は、学生によって取り組みやすさに差があるので、より授業に集中できるよう課題内容を少し変えたり、スケジュール管理をしっかり行っていきたいと思います。
ラ	入野遥	バレエ I	ポジションの名前と形の一致、その名前の意味や動かす上で意識するポイントなど、バレエは覚えて動かす事が沢山あり、又初心者には踊ってみる事でさえ難しいので、練習材料として私が許可した時のみ動画撮影をしました。 他には、覚える時間を取ったり、一人一人アドバイスをあげたりと工夫しました。	もう少し頑張って貰いたい生徒も居ますが初回に比べるとみんな成長していましたし、基礎は学べたのではないかと思います。 今後は、その学んだ基礎を習得しスムーズに動かせるようになる事を課題とします。
ラ	竹内 和奏	HIP HOP I	中間アンケートまでの授業以上に、個々の授業に対する意識を高めるためグループワークの時間を作るよう意識しました。	授業に対する意識が高い学生が多かったので、授業内容であるストレッチ、アイソレーション、筋トレ、基礎練習、そしてグループワークを通して予想以上に到達目標を達成している学生が多くいました。ダンスのグループワークは振り付け、構成を自分たちで制作する時間を設けたのですが自ら発言することを出来る学生と発言することが難しい学生というところに差があると感じました。 この差を少しずつ無くし意見の飛び交うグループワークにすることを今後の課題としたいと思います。
ラ	堀口節子	カウンセリング概論	後方の席の学生がパワーポイントが見づらいとの回答があったので、文字を大きくして文字数を減らしたり、後方の席の照明を暗くして見やすくなるように工夫した。 また、文字だけでなく図や表、絵での表現を取り入れ分かりやすい授業を心がけた。授業評価アンケートの結果、9割の学生が「そう思う、ややそう思う」と回答しており、改善や工夫が評価されたと考える。	学生の成績は高い学生と低い学生の差が大きく、説明問題や応用問題の解答が低かった。授業評価アンケートでは「ほとんど・かなり達成できた」と5割の生徒は評価しているが、4割の生徒は「少し達成できた」の評価になっており、今後、基本的な内容をもっと分かりやすく、応用問題にも対応できるように授業に工夫していきたい。
ラ	篠原富美子	調剤請求	スライドが見えやすいように工夫、レセプト作成時において理解度を高めるため部分拡大した。	週2時間以上取り組んでくれた学生もいて全体的にしっかりと学んでいた。後半理解度が高まっていく様子が多くの学生から感じることができた。 積極的な参加については、学生の自主性に任せた部分が多かった。今後コメントペーパーを用いたい。
ラ	寺石佳世	健康・栄養クッキング	調理が慣れていない学生さんには、より丁寧に繰り返し説明を行った。	10回のお授業だったので終了した時期が早く、アンケートの回答率が低くなってしまった。回答率が低すぎて検証しにくいです。